

2016年3月期決算

2016年6月1日

古河電池株式会社

取締役常務執行役員 高久 繁



目次



1. 15年度 決算概要
2. 16年度 業績予想
3. 参考資料

目次



- 1. 15年度 決算概要**
2. 16年度 業績予想
3. 参考資料

15年度 概要サマリー

売上高：54,106百万円
営業利益：2,928百万円

■ 連結 売上・損益の状況 (詳細は5ページ)

- 売上高：国内外での自動車電池の堅調な推移、官公庁等の電源装置更新需要による産業用電池の好調な推移などにより**増収**
- 損益面：主原料の鉛価格の下落およびいわき事業所における新設備稼働による生産性向上などにより、営業利益・経常利益ともに**増益**

■ 海外売上高 (詳細は8ページ)

- 17,904百万円 (前年度比 Δ 3.8pt)
→外貨ベースでは増収も、為替レートの影響により減収
- 売上高比率は33.1% (同 Δ 1.4pt)

■ 連結子会社の進捗 (詳細は9ページ)

- タイ：堅調な推移により、連結業績の増収・増益に寄与
- インドネシア：現在、量産体制の安定化等に注力中

■ 業界トピックス

- GSユアサによるパナソニック鉛蓄電池事業の買収 (2016年8月末完了予定)
- 日立化成、新神戸電機を吸収合併

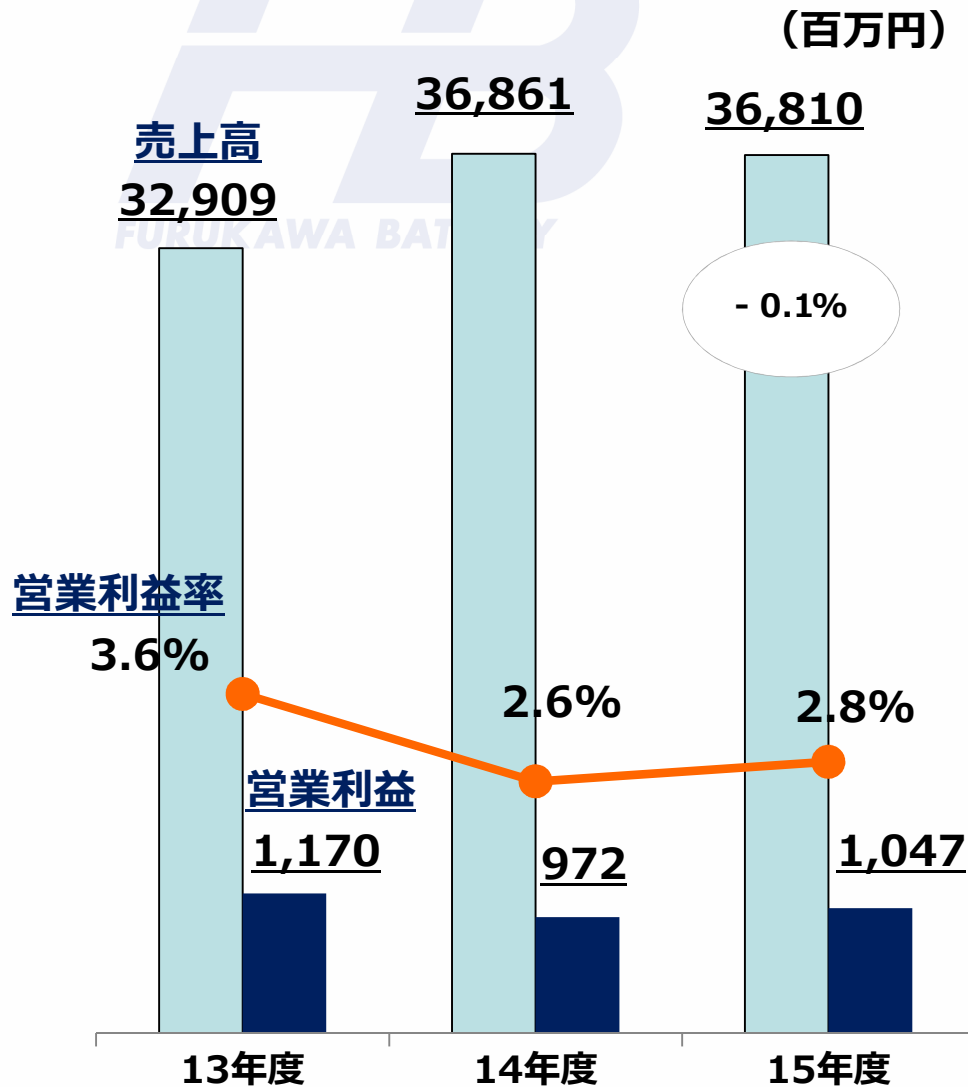
15年度通期決算の概要

(百万円)

	14年度 実績	15年度 実績	前年度差 (増減)
売上高	53,903	54,106	203
国内	35,286	36,202	916
海外	18,617	17,904	△ 713
営業利益	2,441	2,928	487
対売上高比率	4.5%	5.4%	0.9%
経常利益	2,702	2,898	196
対売上高比率	5.0%	5.4%	0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,756	2,367	611
対売上高比率	3.3%	4.4%	1.1%

※ 切り捨て表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

自動車セグメントの状況（連結）



■ 売上高* 36,810 百万円 (△ 51 百万円)

- 補修用電池が好調に推移したものの、為替換算レートの影響により減収

■ 営業利益 1,047 百万円 (+75 百万円)

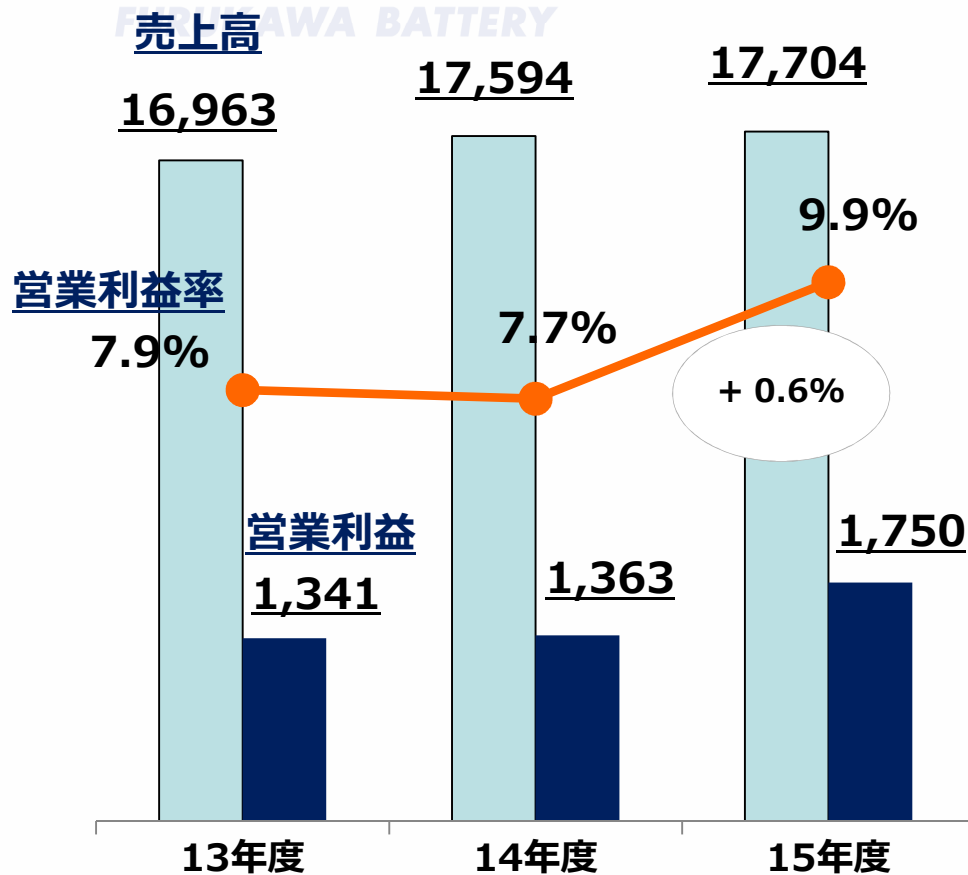
- 主原材料である鉛価格の下落や新設備導入効果による売上原価減少により増益



* 上記売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含みます。

産業セグメントの状況（連結）

（百万円）



■ 売上高* 17,704 百万円 (+110 百万円)

- 官公庁を中心とした電源装置の更新需要増により増加

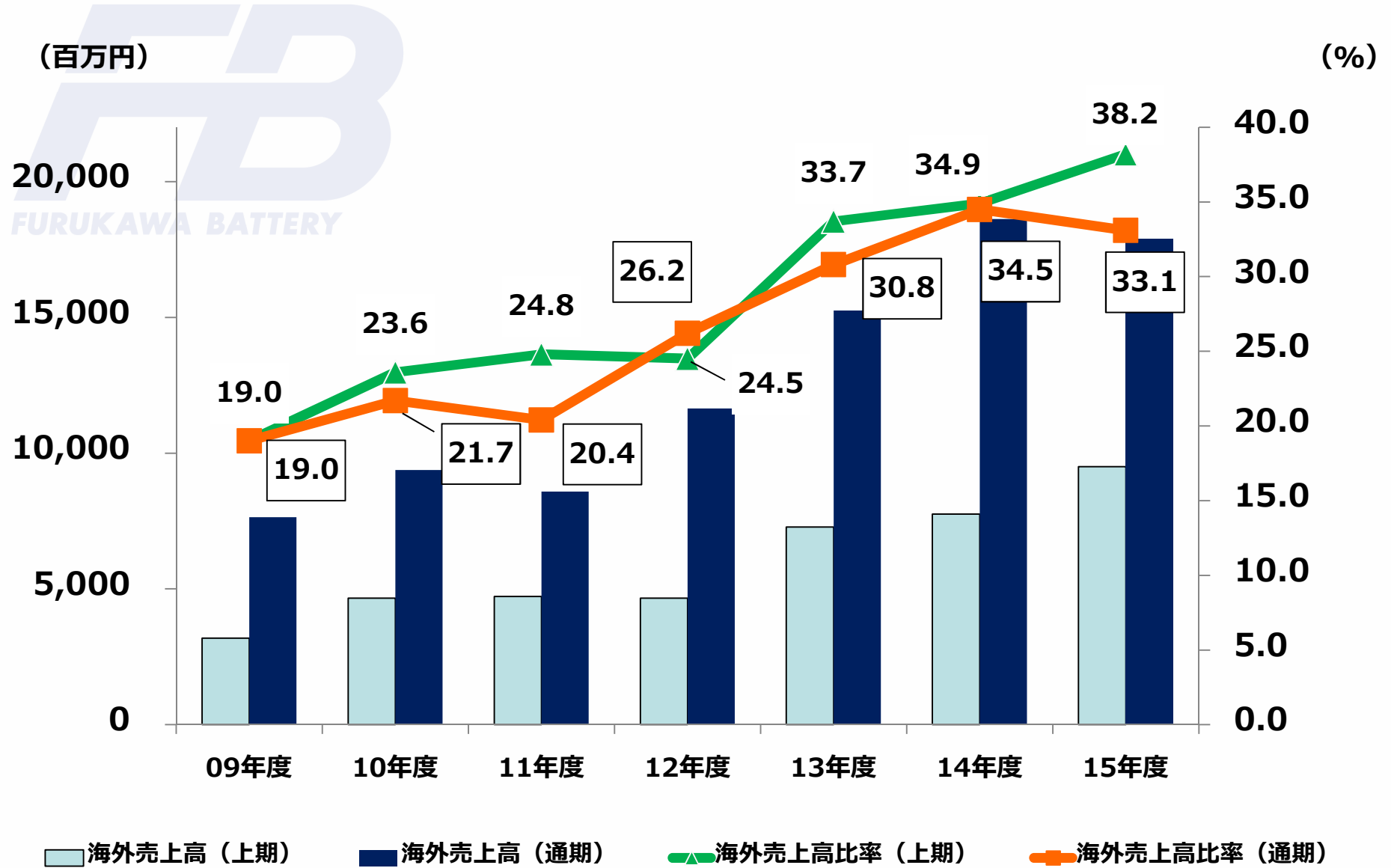
■ 営業利益 1,750 百万円 (+387 百万円)

- 売上増や主原材料である鉛価格の下落による売上原価減少により増益



* 上記売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含みます。

海外売上高の状況



連結子会社の進捗

■ SIAM FURUKAWA CO., LTD. (サイアム・フルカワ社 : SFC)

タイ

- 自動車用電池の販売が堅調に推移
- 連結業績の増収・増益に寄与
- 借入金なしの健全な経営状況



■ PT. FURUKAWA INDOMOBIL BATTERY MANUFACTURING

インドネシア

(フルカワインドモービルバッテリー マニュファクチャリング : FIBM)

- 2015年2月 新工場竣工
- 量産体制の安定化、生産能力の向上に注力中



※ 海外子会社2社の事業年度：1月1日～12月31日

売上高増減（連結）

(百万円)

前年度比



補修用電池が
好調に推移したものの
為替換算レートの影響により
減収

自動車
- 51

産業
+ 110

官公庁を中心とした電源装置
の更新需要増により増加

不動産
+ 14

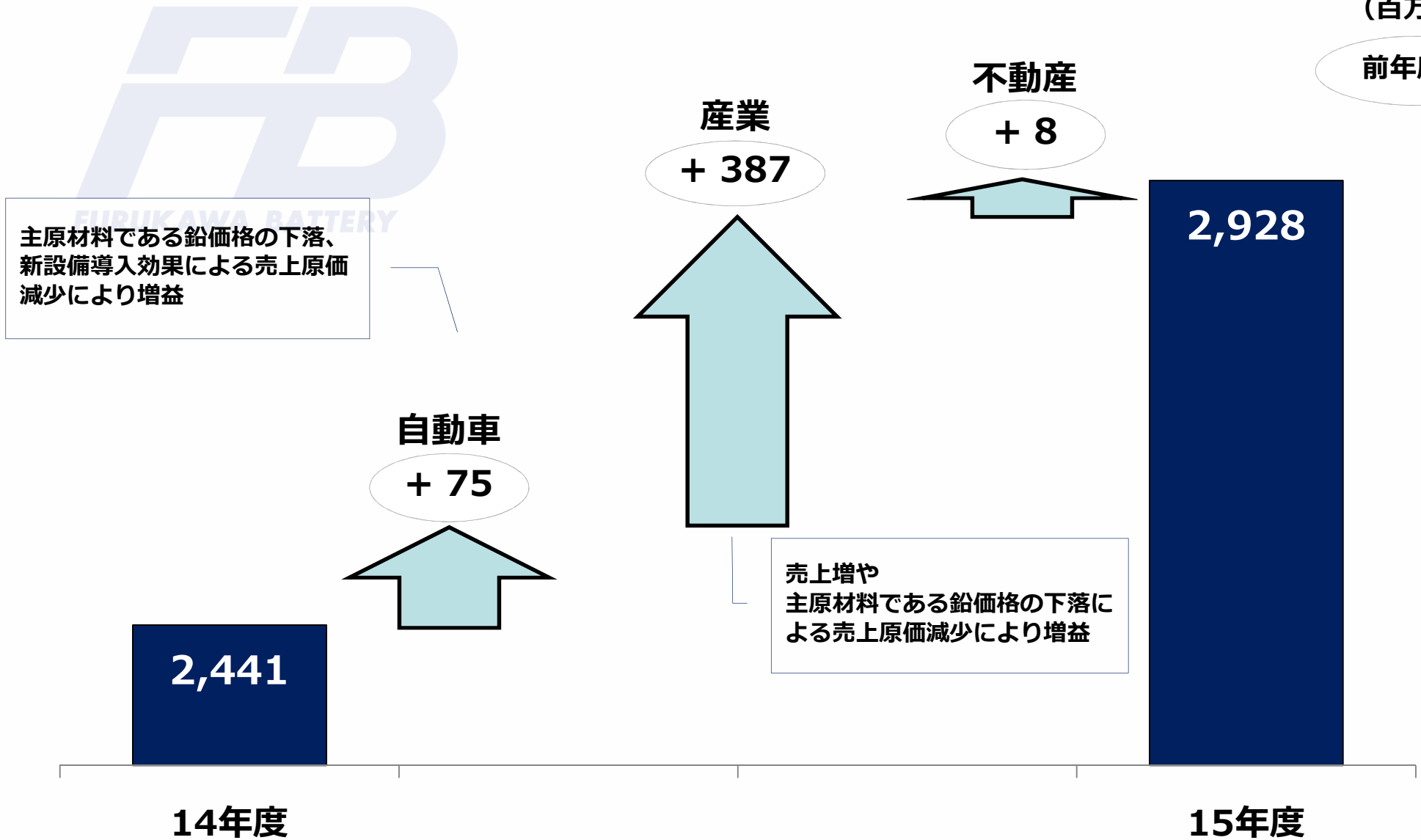


* セグメントの売上高の増減は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んだものの差異です。

営業利益増減（連結）

(百万円)

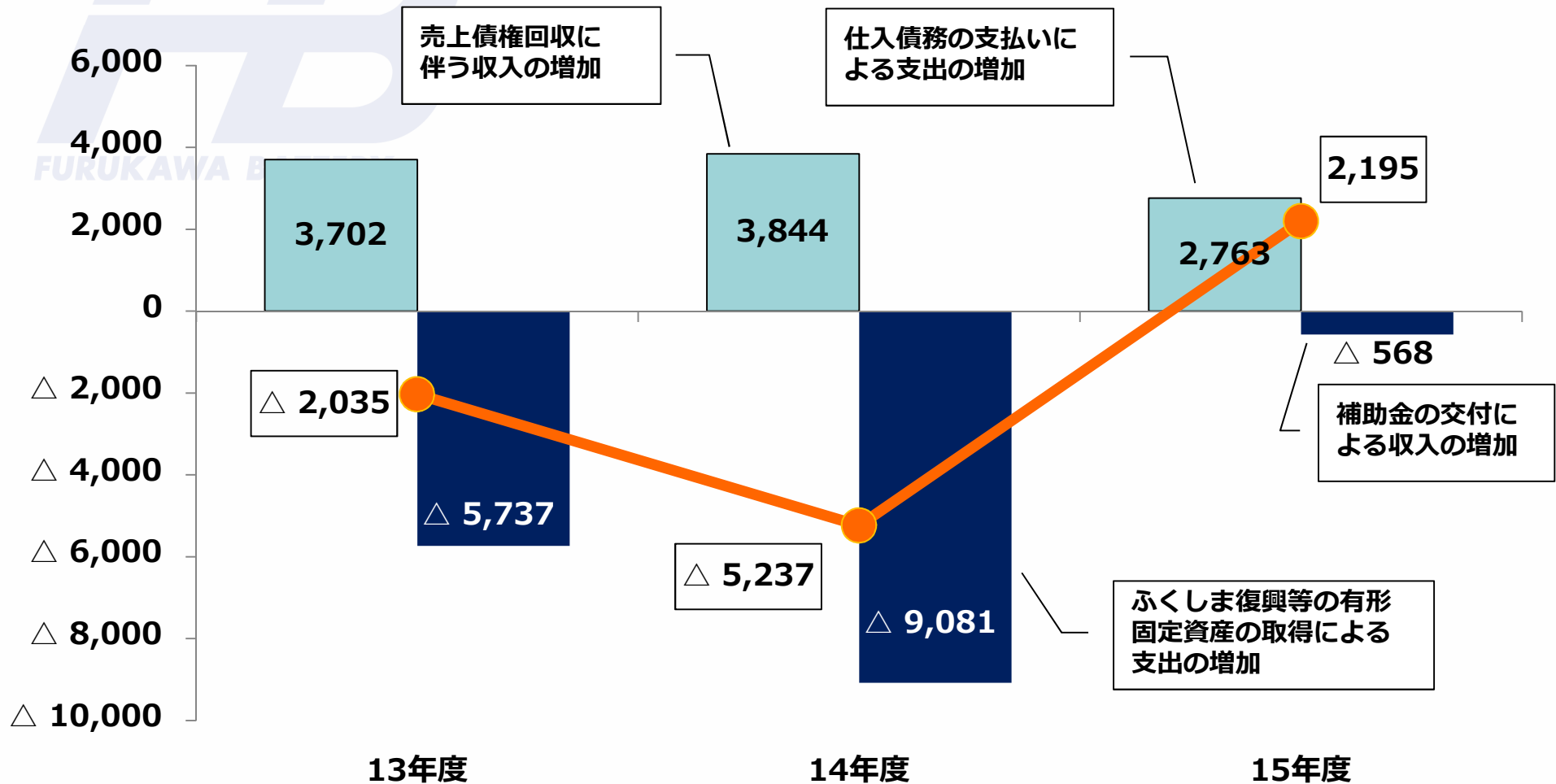
前年度比



* 上記営業利益（合計）は、報告セグメントの営業利益の合計値で、「その他」の区分の利益やのれんの償却額等は除きます。

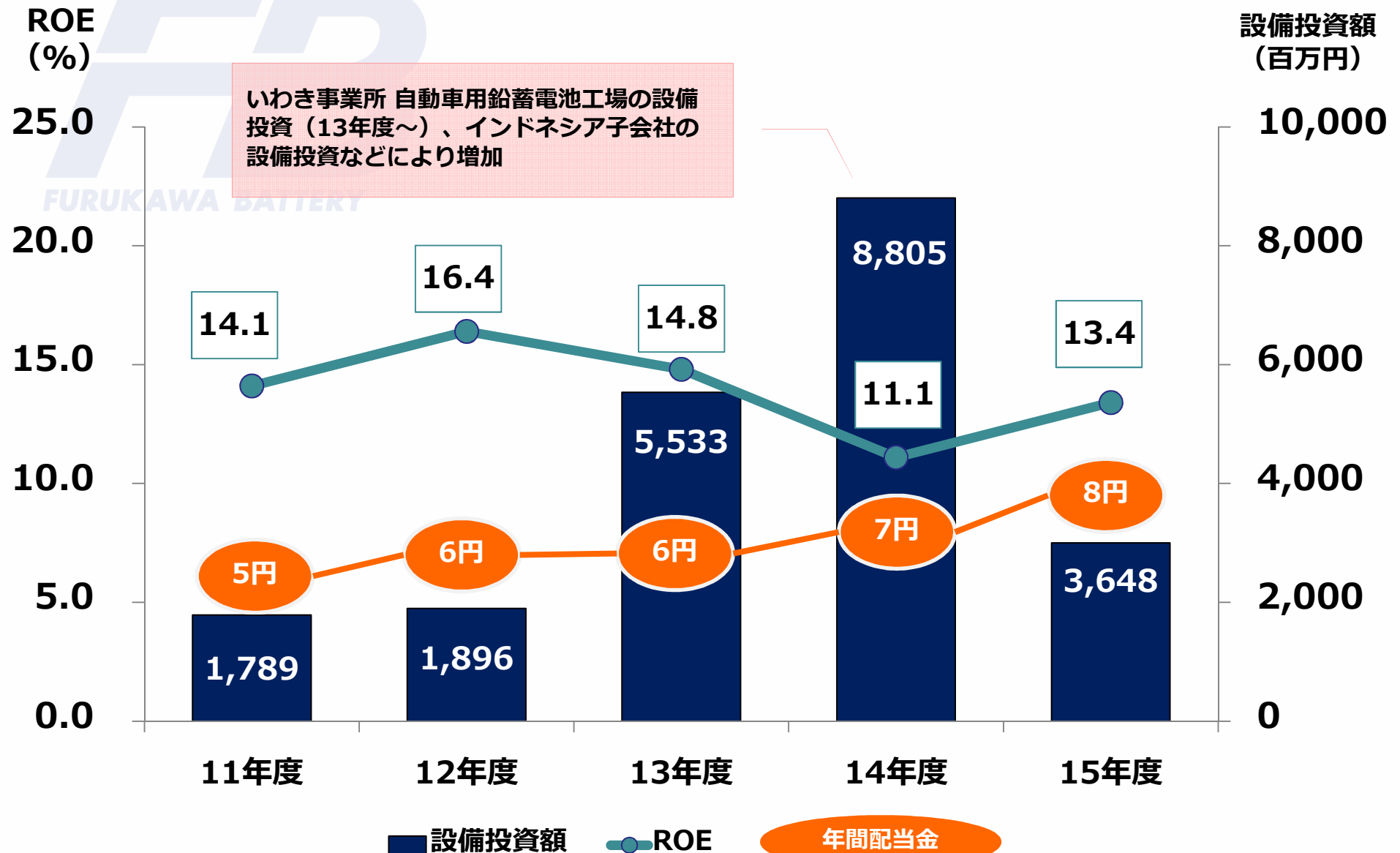
キャッシュ・フローの状況

(百万円)



■ 営業キャッシュ・フロー
 ■ 投資キャッシュ・フロー
 ● フリー・キャッシュ・フロー

設備投資・ROE・配当金の推移

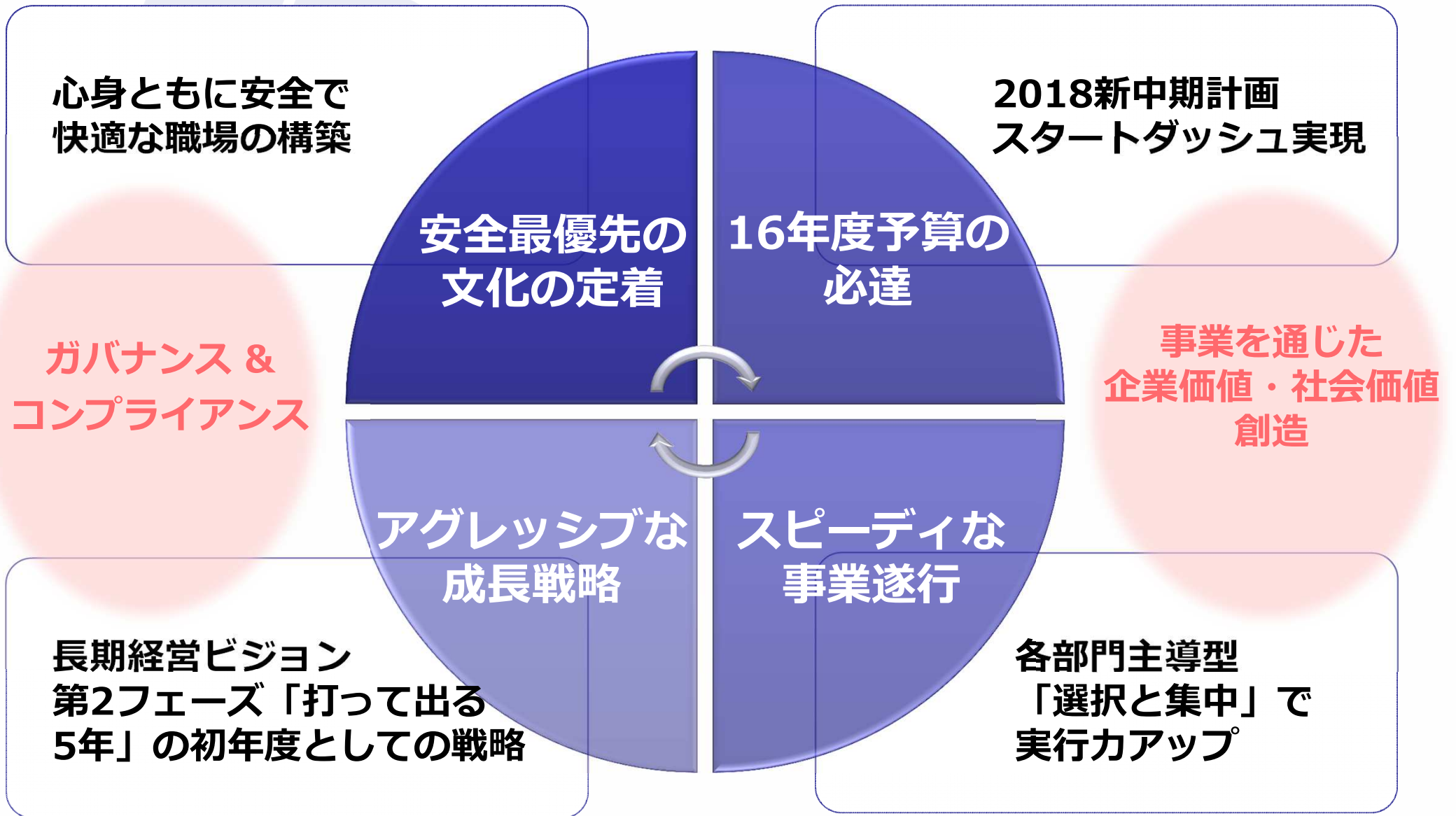


目次



1. 15年度 決算概要
- 2. 16年度 業績予想**
3. 参考資料

16年度 経営方針



16年度通期業績予想（連結）

(百万円)

	15年度 実績	16年度 予想	前年度差 (増減)
売上高	54,106	59,000	4,894
営業利益	2,928	3,300	372
対売上高比率	5.4%	5.6%	+0.2pt
経常利益	2,898	3,100	202
対売上高比率	5.4%	5.3%	△0.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,367	2,200	△167
対売上高比率	4.4%	3.7%	△0.7pt

※ 切り捨て表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

セグメント別 16年度の見通し（連結）

■ 自動車セグメント

- ✓ いわき工場の合理化の加速を核に、増収増益を目指す
- ✓ FIBMの稼働安定化を前提に、海外展開の加速を見込む

■ 産業セグメント

- ✓ 今市事業所革新による合理化・生産効率のアップ・コストダウンを図る
- ✓ 各種再生エネルギーによる発電・電力自由化等の市場変化に対し、多様なプロダクトで対応予定

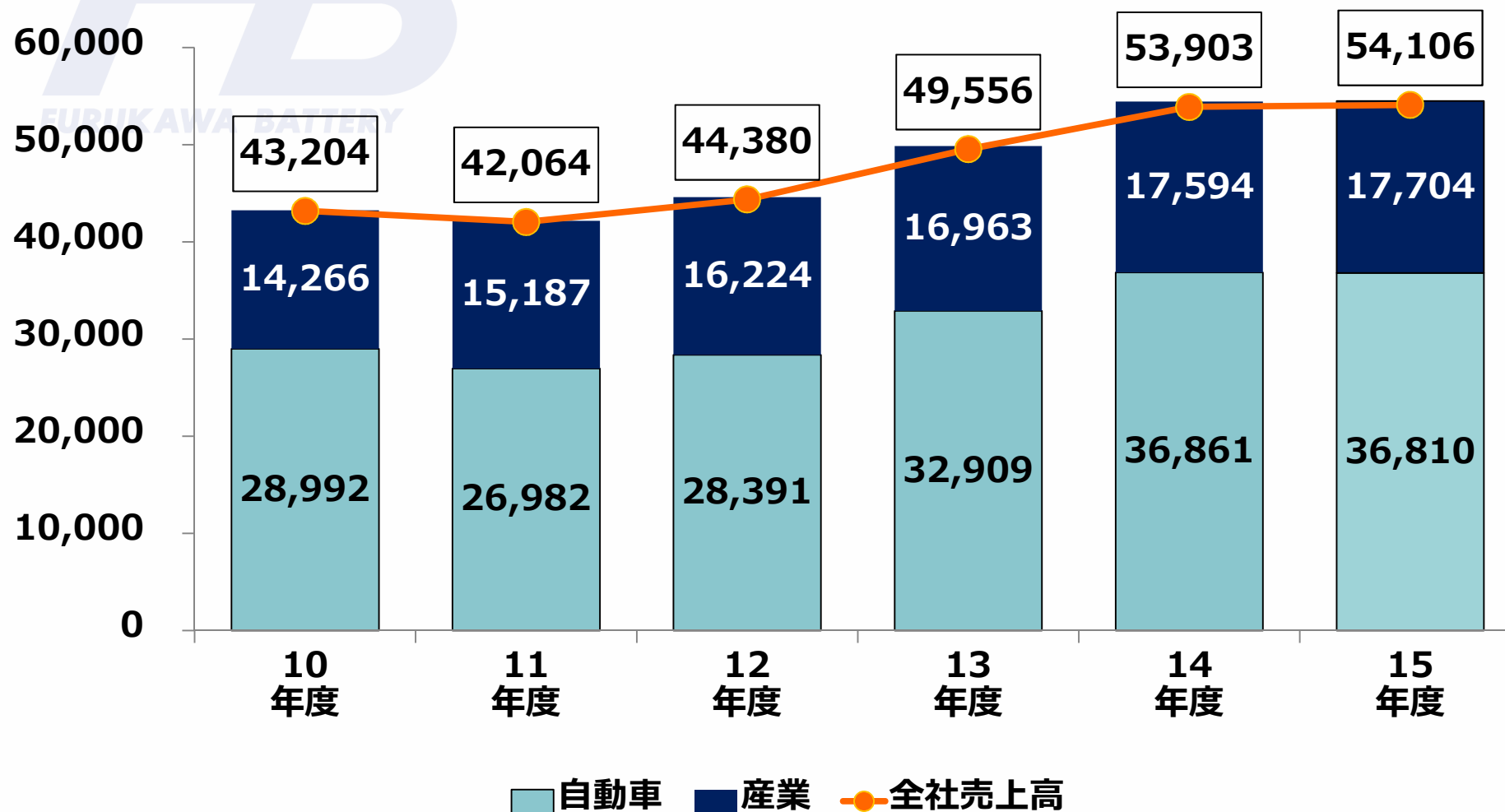
目次



1. 15年度 決算概要
2. 16年度 業績予想
3. 参考資料

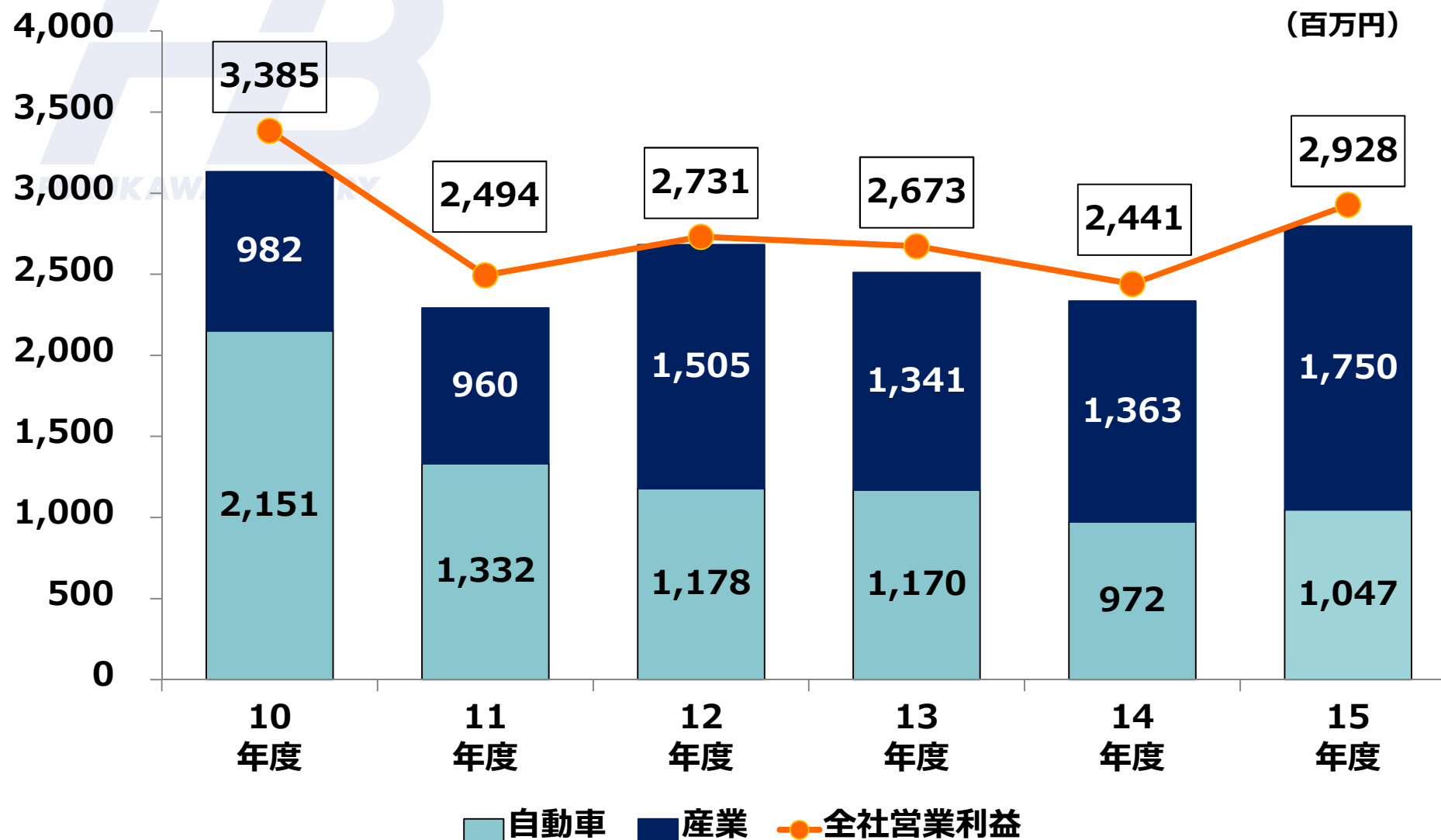
自動車／産業セグメントの売上高の推移

(百万円)



* セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含みます。

自動車／産業セグメントの営業利益の推移



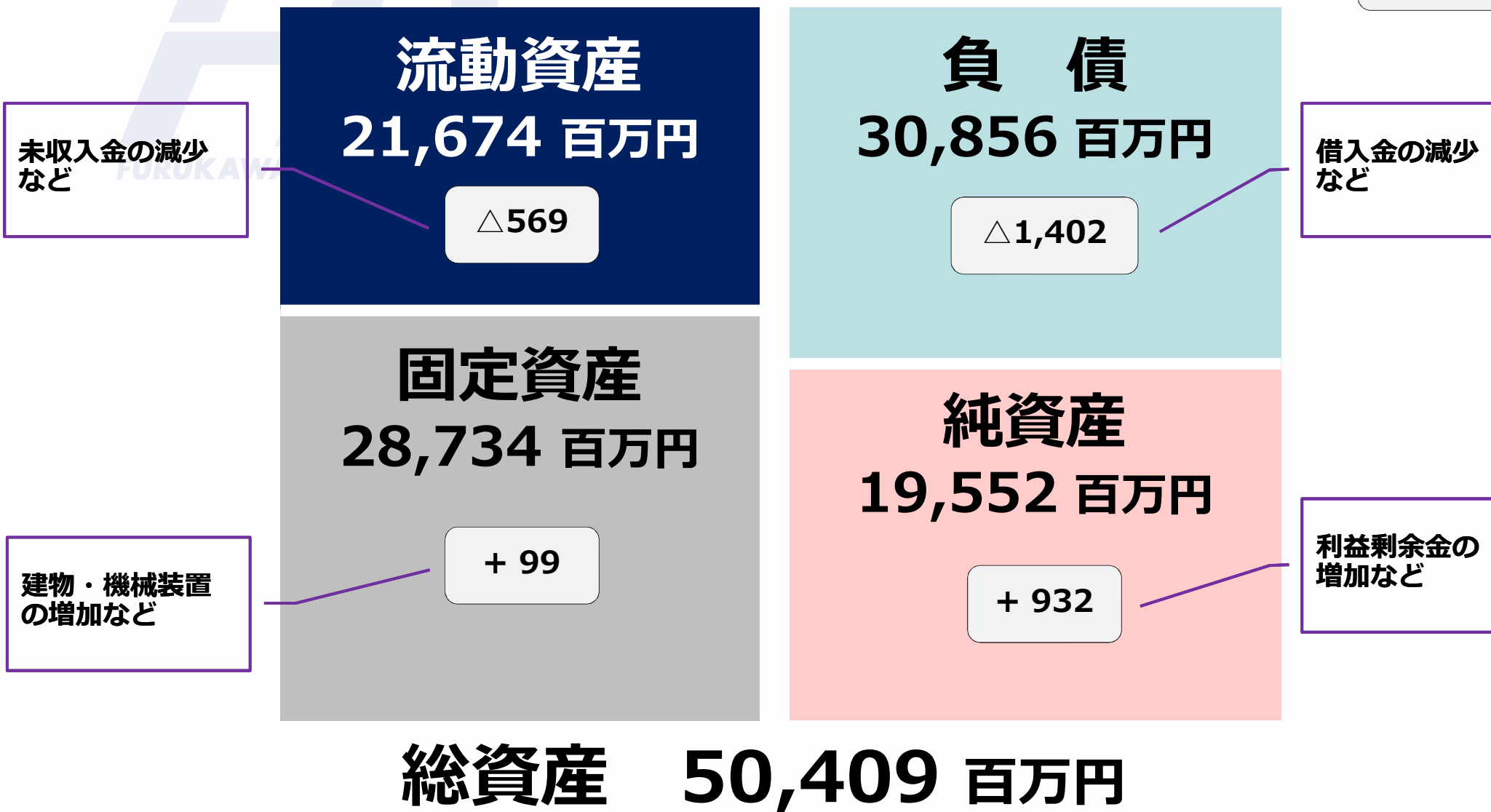
財政状態に関する経営指標

(百万円)

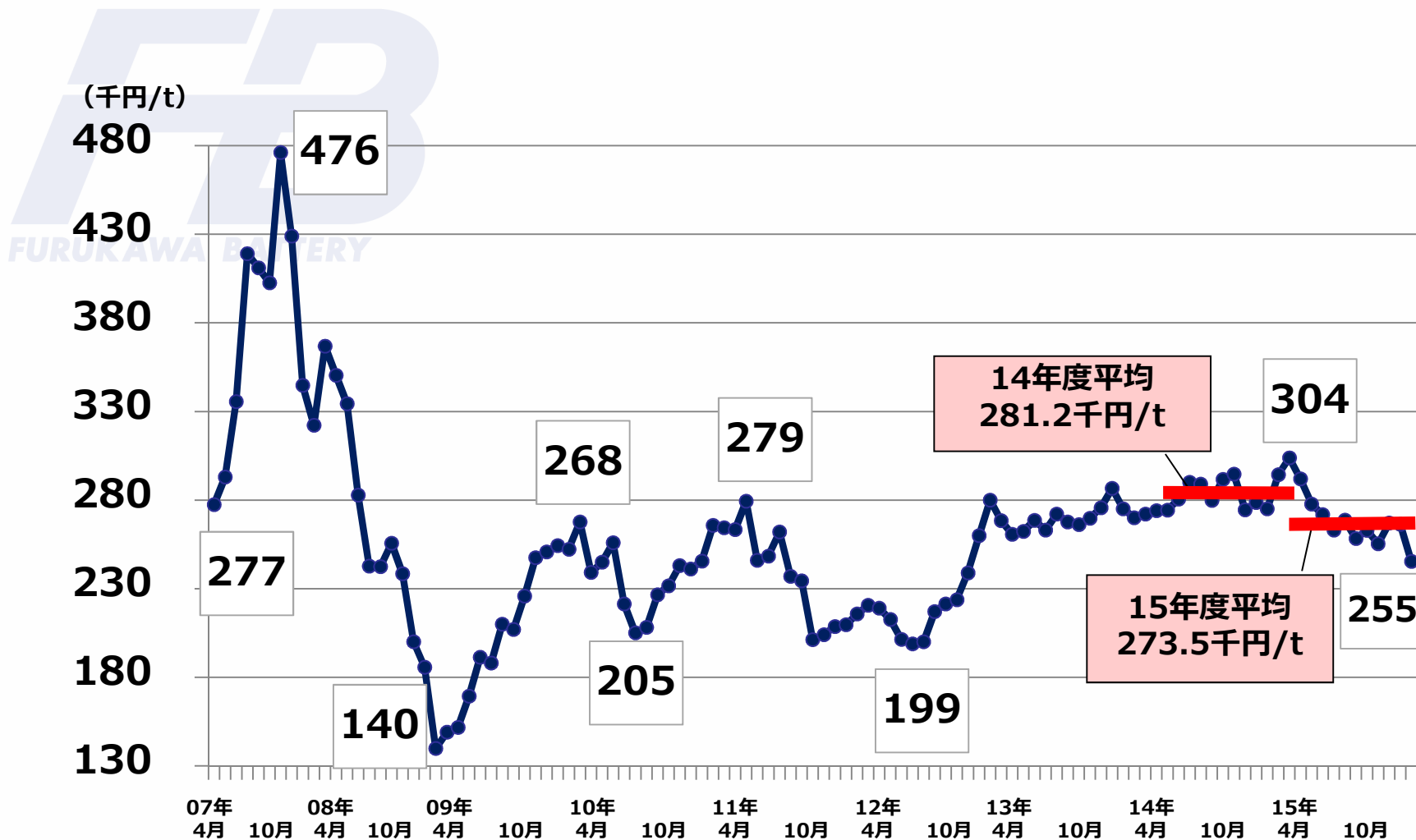
	15年3月末	16年3月末	前年度末比	15年9月末
総資産	50,879	50,409	△ 470	48,145
流動資産	22,244	21,674	△ 569	18,638
固定資産	28,634	28,734	99	29,507
純資産	18,620	19,552	932	18,465
有利子負債	12,320	11,536	△ 784	11,334
自己資本	17,087	18,383	1,296	17,087
自己資本比率	33.6%	36.5%	+2.9pt	35.5%
D / E レシオ	0.7倍	0.6倍	△ 0.1	0.7倍
総資産経常利益率 (ROA)	5.8%	5.7%	△ 0.1pt	—
自己資本利益率 (ROE)	11.1%	13.4%	+2.3pt	—

※ 切り捨て表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

バランスシートの状況 (16/3末時点)



《参考》鉛建値価格推移 (07~15年度)



●鉛建値 (月平均)

将来情報についての注意事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しており、主要なものとして以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 為替相場の変動による影響
- ・ 主要製品に使用される原材料の価格変動
- ・ 海外における政治的および社会的リスク
- ・ 取引先の業績悪化等
- ・ 自然災害の影響

なお、本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。

(注) 当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本会計基準」を採用しています。
年度表記について、14年度は2015年3月期、15年度は2016年3月期（以下同様）を表しています。